

科目名	インテリアデザイン	英語科目名	Interior Design
開講年度・学期	平成21年度 後期	対象学科・専攻・学年	建築学科3年
授業形態	講義+演習	必修 or 選択	選択
単位数	1単位	単位種類	履修単位(30時間単位)
担当教員	佐藤篤史	居室(もしくは所属)	建築学科棟3階
電話	0285-20-2833	E-mail	a-sato@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
<p>1) インテリアの各種要素を学び、その歴史や人間工学等の基礎知識を習得する。</p> <p>2) 人体や家具の実測及び実測値による図面の作図により、家具の基本寸法及び人体寸法との関係を習得する。</p> <p>3) 色彩や空間心理などの基礎知識を習得する。</p> <p>4) 人間の感性(イメージ)を形に表現するプロセス及びその関係性を習得する。</p>			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
<p>1. 試験は学年末に行い、60%以上の成績で評価する</p> <p>2. 演習問題や課題については、提出状況、提出内容また口頭発表の内容を設定水準で評価する</p>			
評価方法			
<p>評価は下記のことを考慮して総合的に行う。</p> <p>1. 期末試験(40%)</p> <p>2. 演習課題(40%)</p> <p>3. ホームワーク(10%)</p> <p>4. 受講態度(10%)</p>			
授業内容			
<p>1. インテリアデザイン概論 . . . . . 1週 内側からの発想、建築計画におけるインテリア計画の位置付け</p> <p>2. 我が国の住宅の変遷 . . . . . 2週 伝統的な和室からダイニングキッチンの発生まで</p> <p>3. インテリアデザインと人間工学 . . . . . 3週 人体計測、動作空間、行動特性、安全性、</p> <p>3. インテリア・家具の歴史 . . . . . 1週 西洋のインテリア、デザインの様式</p> <p>5. インテリアデザインと空間の心理 . . . . . 1週 対人距離、パーソナルスペース</p> <p>6. インテリアエレメント . . . . . 1週 テクスチャー、家具、照明、テキスタイル</p> <p>7. インテリアと色彩 . . . . . 3週 色彩の基礎知識、色彩がインテリアの雰囲気及ぼす影響について学ぶ</p> <p>8. 人間の感性(イメージ)とデザイン . . . . . 3週 インテリアエレメントと人間が受けるイメージ(印象)の関係 イメージを形や色に落とししていくプロセスを、課題を通して学ぶ</p> <p>&lt;定期試験&gt;</p> <p>9. 試験問題解説 . . . . . 1週</p>			
キーワード	インテリア、家具、人間工学、色彩、		
教科書	インテリアデザイン教科書(彰国社、1993)		
参考書	<p>1. 小原二郎他 「インテリアの計画と設計」(彰国社、1986)</p> <p>2. 小原二郎 「人間工学からの発想」(ブルーバックス、1982)</p> <p>3. 「インテリア空間と要素をデザインする」(彰国社、1994)</p>		
小山高専の教育方針①~⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A-1) 科学や工学の基本原則や法則の基礎知識を身につけること。			
JABEE 基準1の(1)との関係	d(1), (g)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築製図Ⅱ		
現学年の関連科目	建築計画Ⅰ		
次年度以降の関連科目	建築計画Ⅱ、建築意匠		
連絡事項			
<p>1. インテリア空間は人間が生活する場であり、あるいは働く場であり、居住の重要な場である。その重要性を認識してもらいたい。</p> <p>2. 試験は時間を50分とし、テキスト、配布資料の持ち込みを可とする。</p>			
シラバス作成年月日	平成21年2月27日		